

# てんてい新聞

12.7.No181  
発行市岡日鉄  
責任 0883-88-5292

早いも人です。もう七月、今年も半分がすぎた。こまにまいました。この向まで「寒いのか」と言っていたのに、陽差しが強くなり暑くなってきた。

何をする事が多い時 朝食のあと縁側に座って、コーヒー一杯、向こうの山の家々や色深くひらりと緑をたに眺めるだけ。

何知かから、アカウツビの事が聞こえ、マカウツビの事が聞こえ、ウツビがうかして、今年は、ミソサザエの二え気が



## なんでもなけれど 幸せ

鳴き声がなかつた、ウグイスは毎朝よく鳴き、フーヒーがま

まます美味くなる。一時間ぐらい本を読

いと、愛犬、山マッキーと散歩に出る。

愛犬の為に、自らの運動の為に一時向以上歩く。昨日は気がつかなくなつた、山野草が咲いている。毎朝、その時季がくれば、ちやんと咲いてくれる。こころと飛ぶ蝶がいる。

どこかと思いつく。やうぼり今年もやう。来たるマサキマダラ。何知か、飛んぶ蝶

えるとなせどお嬌しくひよるから不思議。たまには、ニホニホカモソカにも出合える。

愛犬、山マッキーも気が合入って追いかけるがカモソカは、すぐにガケの所へ行つて、くべり

する。まゆりをうろつと、山マッキーをかどてたりもする。梢でオオルリの美しい音がする。六月の羊ばすまると、野草が手に入るようになる。今年も、サガリスメイケブヘアガバモソ



が出来た。たまには愛犬、山マッキーにとやると、よく食べる。どお、美味しいので、ほとんと自分だけの刀へ入れる。

一畑一畑ひなく、五つ六個までか、食べると、たまにはいい。多くて、何人かの人には持つていつてあげたりもした。

クワイケダとあり、デザートは散歩の時に補充出来るありがたさ。

峠で眺める景色も、白々の葉しみがある。遠く、三山嶺、イザリ、剣山まで眺めることが出来るのである。

名のある山で、日々変化して、山脈があり、日々変化して、季節の移りを感じる。が出来ます。

愛犬、山マッキーも山を走り回り、私も十分歩き、満足しての帰りである。一えは、ひんごもない日々で、その日に、喜びを感じることが出来るのも、由縁だから。

不便な所だから、散歩していても車は人かに、合いません。車が来れば、何しに来たんだとちやうと気がなる。

春と夏と、土日に山へいけば、山菜狩りに車が来る時があり、たまには、帰えれよ、なんぞおとさしてしまつ。

勝手なお願いだけれど、家の周辺を荒れさせるのは、免こうむりないもんです。で、今年も山歩きに行こうか、山マッキー